

本 会 告

第4回編集委員会

1989年3月4日、高エネルギー物理学研究所放射光実験施設で開催した。第2巻第1号の評価、第2号および第2号以降の内容について検討した。

第6回定例幹事会

1989年3月11日、高エネルギー物理学研究所放射光実験施設で開催した。第2回年会開催の準備状況の確認、とくに学生会員を増やすためにその特典として年会の参加費を安くすることとした。また、会員異動、1989年度予算案、会誌第2巻第2号および第2号以降の編集方針、関連団体からの協賛、後援依頼および出版物の寄贈等について検討した。

第2回年会

1989年4月6日(木)、7日(金)日大文理学部において開催。参加登録者244名。

2件の特別講演と14件の一般講演。ポスターセッションは、マシン15件、装置22件、硬X線50件、VUV・軟X線18件、放射光利用施設29件。

懇親会は6日、17時30分より同校食堂にて開催。出席者45名。詳細は本誌55ページに記載。

第4回、5回評議員会

1989年4月6日(木)、12時より新・旧評議員合同で、日大文理学部にて開催。主な審議・承認事項は次の通り。

第4回評議員会

- 1) 正会員50名、賛助会員3社の入会および正会員3名の退会を承認した。(4月6日現在、正会員数671名、賛助会員数68社)
- 2) 1988年度事業報告および収支決算を承認した。

3) 学会細則の一部を改正することを承認した。

4) 1989年度選挙について、田中評議員を担当委員推薦した。

第5回評議員会

1) 1989年度、幹事・各委員会委員を承認した。

2) 1989年度の主な事業計画として、行事計画、会員名簿の発行、会誌編集方針、渉外活動方針、1989年度予算案等を承認した。

3) 日本学術会議物理学研究連絡委員会、物性物理専門委員会委員に、安藤評議員を推薦した。

4) 1989年度選挙について、担当委員に田中評議員を承認した。

第2回総会

1989年4月6日(木)16時から日大文理学部で開催した。議案および議事の結果は次のとおりである。(出席者61名、委任状による出席者192名)

1) 1988年度事業報告および収支決算に関する件。(後記93ページ記載のとおり承認)

2) 学会細則に関する件。(第2章第4条2項「評議員会は、候補者全員の……」は「評議員会は、次期会長候補者全員の……」に、第2章第4条4項「評議員会は、候補者全員の……」は「評議員会は、次期評議員候補者全員の……」に改正することを承認。)

3) 1989年度学会組織に関する件。(後記92ページ記載のとおり承認)

4) 1989年度事業計画および収支予算に関する件。(会員名簿発行および後記96ページ記載の原案を承認)

1989年度役員

1989年度役員は、所定の手続きを経て、つぎのとおり決定した。

会長

佐々木泰三（高工研名誉教授）

評議員

安藤 正海（高工研）

石井武比古（東大物性研）

井口 洋夫（分子研）

岩崎 博（高工研）

太田 俊明（広大理）

大柳 宏之（電総研）

上坪 宏道（理研）

菊田 惺志（東大工）

北村 英男（高工研）

木村 克美（分子研）

黒田 晴雄（東大理）

国府田隆夫（東大理）

合志 陽一（東大理）

小早川 久（高工研）

佐々木泰三（高工研名誉教授）

下村 理（無機材研）

田中健一郎（高工研）

谷口 雅樹（広大理）

千川 純一（高工研）

富增多喜夫（電総研）

波岡 武（東北大科研）

早川 和延（日立）

富家 和雄（高工研）

藤井 保彦（筑波大物質工）

前沢 秀樹（高工研）

松井 純爾（日本電気）

松下 正（高工研）

三井 利夫（阪大基礎工）

安岡 則武（姫路工大）

渡辺 誠（分子研）

1989年度幹事・委員会委員

1989年度各幹事、委員会委員は、所定の手続きを経て、つぎのとおり決定した。

庶務幹事 谷口 雅樹（広大理）

会計幹事 菅 滋正（東大物性研）

編集幹事 宮原 恒昱（高工研）

行事幹事 下村 理（無機材研）

渉外幹事 藤井 保彦（筑波大物質工）

編集委員会

飯田 厚夫（高工研）

宇田川康夫（分子研）

榎本 収志（高工研）

大嶋 建一（筑波大）

大隅 一政（高工研）

大柳 宏之（電総研）

尾嶋 正治（NTT）

桂 共太郎（高工研）

神谷 信夫（理研）

北野 保行（広大）

後藤 俊治（富士通）

坂田 誠（名大）

鈴木 功（電総研）

鈴木 茂雄（三洋電機）

関 一彦（広大）

西山 岩男（日本電気）

橋爪 弘雄（東工大）

浜中 俊明（阪大）

平井 康晴（日立）

福谷 博仁（筑波大）

本堂 武夫（北大）

◎宮原 恒昱（高工研）

宮原 義一（東大物性研）

村田 隆紀（京都教育大）

柳原 美広（東北大）

渡辺 誠（分子研）

行事委員会

植木 龍夫 (阪大)
 太田 俊明 (広大)
 北村 英男 (高工研)
 古宮 聡 (富士通)
 近藤 泰洋 (東北大)
 ◎下村 理 (無機材研)
 高橋 敏男 (東大物性研)
 前沢 秀樹 (高工研)
 前山 智 (NTT)
 渡辺 誠 (分子研)

渉外委員会

柿崎 明人 (東大物性研)
 小林 正典 (高工研)
 張 紀久夫 (阪大)
 ◎藤井 保彦 (筑波大)
 ○松下 正 (高工研)

◎: 委員長 ○: 副委員長

1988年度決算報告書

自 1989年4月 1日
至 1989年3月31日

(単位 円)

1. 収入の部

科 目	金 額	細 目	目
1. 会費収入	1,611,000	正会費収入	1,575,000
		学生会費収入	36,000
2. 賛助会費収入	2,700,000		
3. 講読会費収入	75,000		
4. 学会誌広告料収入	3,444,700		
5. 学会誌販売収入	32,440		
6. 受取利息	485		
収入の部合計			7,863,625

2. 支出の部

科 目	金 額	細 目	目
1. 学会誌出版費	5,691,959	会誌印刷費	4,263,657
		会誌編集費	1,067,702
		発送手数料・郵送料	360,600
2. 名簿管理費	721,250		
3. 事務経費	1,406,140	事務管理費	240,000
		賃貸料	24,000
		事務用品費	124,190
		消耗品費	161,710
		水道光熱費	6,000
		租税公課	800
		印刷費	273,500
		税理士報酬・顧問料	428,500
		振込手数料・運賃	113,850
		FAX使用料	33,590
4. 通信費	1,569,205		
5. 会議費	512,200		
支出の部合計			9,900,754

3. 収支計算の部

当期収支差損 2,037,129

資産負債明細

1989年3月31日現在

(単位 円)

1. 資産の部

科 目	金 額	細 目	目
1. 現金及び預金	4,938,410	手持現金残高	86,055
		郵便振替残高	3,942,700
		都民銀行普通預金残高	909,655
2. 会費未収入金	261,000	設立発起人準備金未収残高	45,000
		正会員会費未収残高	216,000
3. 広告費未収入金	902,300		
4. 学会誌在庫高	650,366	第1巻第1号(222冊)	192,252
		第1巻第2号(164冊)	142,024
		第1巻第3号(185冊)	160,210
		第1巻第4号(180冊)	155,880
5. 電話加入権	70,000		
資 産 の 部 合 計			6,822,076

2. 負債の部

科 目	金 額	細 目	目
1. 会費前受金	5,050,000	正会員会費(456名)	2,856,000
		学生会員会費(11名)	44,000
		賛助会員会費(43口)	2,150,000
2. 源泉税預り金	45,900		
3. 講習会特別勘定受入金	168,929		
負 債 の 部 合 計			5,264,829

3. 剰余金の部

科 目	金 額	細 目	目
1. 前期繰越剰余金	3,594,376		
2. 当期収支差損	2,037,129		
剰 余 金 の 部 合 計			1,557,247

剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	3,594,376円
当期収支差損	2,037,129円
次期繰越剰余金	1,557,247円

1989年度事業計画

編集委員会

1989年度編集方針(参考)

1. Vol. 2, No.2 (内容予定)

・解説/トピックス

1. リソグラフィ(電総研・阿刀田)

2. 角度分解光電子(高エ研・加藤)

3. FEL(電総研・山崎)

4. X線ラマン(分子研・宇田川)

5. NTTリング(NTT・北山)

6. 小型リング(電総研・富増)

・講座/放射光の性質No.2(高エ研・宮原)

- ・学会設立特別座談会/60歳代
- ・書評/「日本の結晶学—その歴史的展望—」(筑波大・藤井)
- ・会告/1989年評議員, 新組織
第2回年会報告
- ・研究会報告/広島/H i S O R研究会
KEK/AR, VUV-SX
'88 9月/台北

2. No.3以降(既に依頼済みの物を含む)

7. 放射光CT(宇佐美)←No.3
8. 温度ジャンプ(柊)←他誌掲載後
(著作権の関係)
9. Si(III)Ag(高橋)←No.4
10. 光エッチング(正島)
11. パルス光(三谷)
以上, 既依頼済み原稿
12. 固体ヘリウム(鈴木)
13. 挿入光源
14. 機器校正用ビームライン(桜井)
15. 多層膜(山本)
16. X線結像系(青木)
17. XANES(小杉)
18. 固体ハロゲン(藤井)
19. オージェフリー発光(窪田)
20. 磁気コンプトン(塩谷)
21. 光学素子(佐藤)
22. 6VOPE(伊藤)
23. イメージングプレート(雨宮)
以上, 1.~23.(原稿No.)

・実験技術/No.3, No.4

- * I oモニター/VUV(柳下, 曾田,
前沢) X線(野村)
- * 絶対強度測定(前沢)

3. 前記, 解説・トピックス原稿の依頼先分類
(数字は原稿No.)

光源	3, 5, 6/13	
装置, 素子	/14, 15, 16, 21, 22	
VUV-SX	2, 11/19	
X線	構造解析	9/12
	分光	4/17
	その他	7, 8/20
照射(生物, リソグラフィ)	1, 10	

既依頼済み/依頼予定

4. 読者(会員)の専門分野や構成等を考慮し, 今後の記事の傾向を決めていきたいので, 年会参加者には記事に関するアンケートにご協力いただく事にした。今後更にできるだけ多くの会員の意志を反映するような編集企画を考えていくつもりである。

また, 編集委員相互の連絡を密にする為, 執筆依頼候補者等のアンケートを定期的に回収し, 常に豊かな情報を収集していく事とした。

行事委員会

1989年度活動計画

1. 年会

来年度は, 特別講演+一般講演(又はポスター)+シンポジウムの形式をとる事を検討しているが, より多くの発表を募る企画を検討中である。

開催時期・開催場所を検討中。4月後半, 関西地区を考えている。

2. シンポジウム

昨年度は行わなかったため, 今秋の開催を検討している。

3. 講習会・ワークショップ

テーマとして「放射光科学における真空技

術」,「放射光を用いた新しい分析技術」,「X線領域での新しい検出器を用いた放射光利用」等を検討中。

4. 講演会

日程については未定だが,年度内に数件は開催したいと考えている。

- c. 第14回高エネルギー加速器国際会議の後援
- d. 第3回「大学と科学」公開シンポジウムの後援
- e. 「H i S O Rシンポジウム」の協賛*
- g. 「日本分光学会第25回夏期セミナー」の協賛*
- h. 「German-Japanese Symposium on Science and Technology with Soft X-Rays」の後援*

渉外委員会

1988年度活動報告

1. 学会設立公告

1-1 雑誌掲載

Synchrotron Radiation News, 日本物理学会誌, アイソトープニュース, 分光研究

1-2 世界の主な放射光施設, 関連団体への創刊号送付

2. 「学術的会合等の主催・後援・協賛等に関する内規」原案作成(検討中)

3. 学術的会合等の後援・協賛

- a. S R I '88(第3回シンクロトン放射光装置技術国際会議)の後援
- b. X線顕微鏡学栃木国際集会88の協賛

4. その他

- a. 弔文・弔電(Koch氏, 茅 誠司先生*)
- b. Chemical Abstractへ登録*
- c. 「日本の結晶学」(日本結晶学会発行)寄贈*
(*第5回評議員報告事項)

1989年度活動方針

- 1. 学術団体として登録。
- 2. 各国の放射光施設, 及び関連団体との国際的情報交換, 海外からの会員勧誘。
- 3. 学術的会合等の主催・後援・協賛等に関する内規」作成。
- 4. その他

1989年度予算案

自 1989年4月 1日
至 1990年3月31日

(単位 円)

I. 収入の部

科 目	予 算	摘 要
1. 会員会費等	4,100,000	正会員 6,000(円)×650(名)=3,900,000 (学生) 4,000(円)×50(名)=200,000
2. 賛助会員会費等	3,500,000	1口 50,000(円)×70(口)=3,500,000
3. 講読会員会費等	200,000	その他雑誌販売代金含む
4. 広告収入	4,000,000	1件 50,000(円)×20(件)×4(回)=4,000,000
5. 学術的会台収入	*	年会, 講習会等参加費, 広告収入等
合 計	11,800,000+*(円)	

II. 支出の部

科 目	予 算	摘 要
1. 学会誌出版費	7,150,000	印刷費 (100頁×年4回) 4,000,000 編集費 500,000 稿 料 500,000 広告収入支払いマージン (30%) 1,200,000 発送手数料, 郵送料 950,000
2. 会員名簿出版費	790,000	初期プログラム費 (電子製版) 200,000 校正用打ち出し (2回) 40,000 印刷・製本 550,000
3. 名簿管理	300,000	会費請求, 新規登録, 登録変更等
4. 事務経費	1,630,000	アイオニクス 240,000 税理士顧問料 360,000 決算資料作成 (2回) 200,000 電話・FAX料金等 240,000 印刷費 (封筒等、会誌以外の印刷費) 500,000 その他 90,000
5. 通信費	400,000	総会, 各種会議, 選挙等の通信, 通常事業連絡費
6. 会議費	800,000	評議員会, 幹事会, 各委員会の活動旅費, 会場費
7. 学術的会合	300,000+*	年会, 講習会等会場費, 予稿集製作費等
8. 予備費	100,000	
9. 消費税見込額	330,000	
合 計	11,800,000+* (円)	

註1. *年会, 講習会等については, 収支のバランスをとるものとする

会員増加にご協力を



本会では, 会員の増加運動を積極的に行なっております。ご周辺の方で未入会の方がおられましたら, 是非とも入会をご勧誘下さいますようお願いいたします。

入会申込みは本誌綴じ込みの「入会申込書」をご利用下さい。

その他, お問い合わせは下記まで…。

〒112 東京都文京区小石川2-3-4 川田ビル アイオニクス(株)内
日本放射光学会事務局

TEL 03-812-0920/FAX 03-812-3997